

水車



平成30年7月2日

地域協働による人づくり

伊佐見小学校では、浜松市立伊佐見小学校評議員設置要綱の第2条「学校に評議員を置く。評議員は、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べるができる。」に基づき、校長が保護者や地域住民から選出し、教育委員会から委嘱を受けた10人の学校評議員を設置しています。そして、学校評議員と教職員代表とで学校評議員会を構成しています。



去る6月22日には、授業参観会を兼ねて、第1回学校評議員会を行いました。本年度の学校経営、教育活動の概要を説明した後、評議員の皆様から学校運営や地域での子供たちの様子について御意見をいただきました。そこで、出された意見を紹介します。

- 学校、家庭、地域で、子供たちに命の大切さを伝えていきたい。
- 授業や行事で保護者ボランティアを募り、教育活動を一層充実させていって欲しい。
- 行事での写真・ビデオ撮影について、一定のルールが必要であると感じることがある。
- 地域の皆さんの温かい見守りのおかげで、子供たちは地域で安心して過ごすことができている。
- 子供たちの安全な登下校のために、学校と地域が連携し、計画的に通学路の整備を進めていきたい。
- 自転車の安全な走行について、家庭や学校で、継続して声掛けをしていきたい。

こうした意見や7月に保護者、子供たちを対象に実施する「学校評価」の結果を、今後の子供たちへの指導やよりよい学校づくりに反映させていきます。(校長 尾田 聡弘)

「あたたかな心で受け止め、思いをつなげる子」の育成に向けて

本校では、「聴いて 考えて つなぐ学習」を意識した授業を行っています。しっかりと自分の考えをもち、友達と考えを伝え合い交流する活動を通して、学びを深めていきます。授業の中で話し合い活動を行っている時に、「ああ、そういうことか。」「なるほど、分かった。」という子供たちの声がよく聞こえてきます。あたたかな心で考えを受け止めることができた瞬間です。



これからも、目指す子供像「あたたかな心で受け止め、思いをつなげる子」の具現のために、職員一同努力して参ります。参観会や自由参観日には、子供たちが考えを伝え合っている様子を御覧ください。(研修主任 宇野 主馬)

お願い

大成工業空き地駐車場に迎えにいらっしゃる保護者の中で、「反対側の道路を歩いている児童を呼び、横断歩道のないところを横断させている方がいる。」と地域の方から連絡がありました。これは大変危険な行為なので、おやめください。学校でも、横断歩道があるところを横断するよう指導していきます。